

電波時計（報時付掛時計）取扱説明書

～ 製品の特長 ～

- 標準電波を受信して正しい時刻に自動修正
- 毎正時にメロディを奏でます
- 暗くなると秒針と報時が自動停止します

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品（電子回路など）は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース類）の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無償保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有償での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

This product is intended for the Japanese market.

Service and technical support for this product are available only within Japan.

製造
発売元

リズム時計工業株式会社

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

お問い合わせ先 **お客様相談室 0120-557-005**

受付時間 9:00～17:00（土日、祝日および当社休日を除く）

お問い合わせに際しては、品番号(型番)「4MN517」をお伝えください。

(Y1306)

おもな製品仕様

使用温度範囲	－10～50℃	*結露しないこと
時間精度	標準電波受信成功直後の表示精度	秒針 ±1秒 時分針 目盛りに対して±3度
	標準電波を受信しない場合	平均月差±20秒（常温中のクォーツ精度）
報時精度	表示時刻に対して±1秒	
使用電池	単1形マンガン乾電池 JIS規格 R20P 1.5V	2個
電池寿命	約1年	標準電波の受信に成功し、報時を音量中位で17回/日行ったとき
報時機能	毎正時にメロディを一曲奏でる	
ON/OFF	スライドスイッチ	
自動鳴り止め	明暗センサーと連動して暗所停止	
収録曲数	電子音メロディ18曲を3つのグループに分けて収録	
音量調節	ロータリー式ボリューム	
モニター	メロディの試聴	
暗所秒針停止	明暗センサーと連動して12時位置に停止	
電池交換時期お知らせ機能	秒針が常時12時位置に停止	
振り子	装飾用	

電波受信機能	標準電波受信による時刻修正
受信局	福島局/九州局 自動選択
受信ON/OFF	スライドスイッチ
受信回数	最少 1日1回 最多 1日6回

自動受信について

受信状態により、受信回数は変化します。

受信開始時刻

2時16分20秒、3時16分20秒、4時16分20秒、12時16分20秒、13時16分20秒、14時16分20秒

*2時16分20秒は必ず受信を行う。

●製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

付属品 電池 2個 木ねじ 1個 取扱説明書 本書 保証書 1枚

CITIZEN はシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。

当社は CITIZEN ブランドライセンス商品の掛時計、置き時計、めざまし時計、温度湿度計、ストップウォッチを企画・製造・販売しています。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなら責任を負いかねますのでご了承ください。

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明

⊘は、禁止（してはいけないこと）を示しています。

①は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

！ 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない

万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る

- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 電池に傷をつけたり、分解したりしない。
- 電池を加熱したり、火の中に入れてたりしない。

電池から液漏れが起きてしまったときは、素手でさわらない

●目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。

アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。

衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。

●電池を外して、漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

注意 危害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない

さびの発生や故障の原因になります。

分解・改造をしない

故障の原因になります。

落としたり、たいたいたりして衝撃を与えない

故障や破損の原因になります。

ぬれた手で触らない

故障や誤作動の原因になります。

下記のような場所では使わない。

品質や精度の低下、部材の変形、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 温度が+50℃以上の所。
- 温度が-10℃以下の所。
- 温風器などの乾燥した風が当たる所。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気が発生する所。
- 車中や船舶、工事現場など振動の激しい所。
- プールや温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など、多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接触れさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

電池のご注意（電池の正しい使いかた）

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス（+）、マイナス（-）を間違えない。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 電池を新しくするときは、全部取り替える。
- 幼児の手の届かない所に置く。

電池の寿命について

●付属の電池は、工場を出荷するときに入れてありますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。

電池の種類について

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

電池、製品の廃棄

- お住まいの地区自治体の指定に従ってください。
- 電池と本体を分別して廃棄してください。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

電波時計について

電波時計とは

クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jij.nict.go.jp)

標準電波の送信停止について

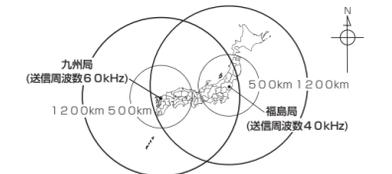
送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外でのご使用になるときは、電波受信機能をOFFにして手動で日時を合わせてください。電波受信機能をONのまま使用すると、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所。
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの中、ビルの谷間、地下
- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く



電波受信機能のON/OFF操作

誤受信しやすい所で使用する場合や意図的に時間をずらしてお使いになるときは、電波受信スイッチをOFFにすると電波を受信しないようにすることができます。この場合、時間精度はクォーツ精度になります。

●電波受信スイッチをOFFにして強制受信ボタンを押すと、ONのときと同様な状態になりますが、受信を行わないで時刻表示になります。必要に応じて、手動で時刻を合わせてください。

- 電波受信スイッチをONにしたときには、必ず強制受信ボタンを押してください。
- 受信表示ランプが2秒に1回点滅しているときに、電波受信スイッチをOFFにしても、最長で24～25時間点滅することがあります。

こんなときには

電波受信スイッチをONにして、強制受信ボタンを押しても受信表示ランプが点灯しない。

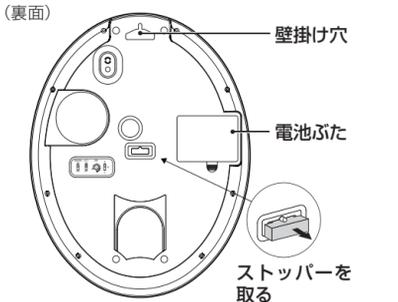
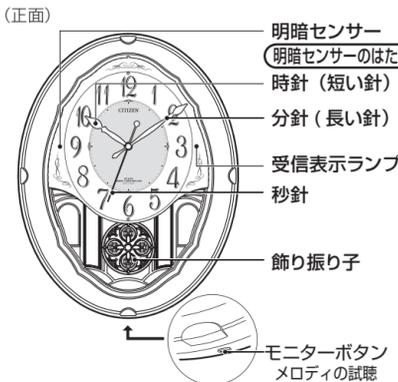
正常に戻すには、次の操作をしてください。

時刻合わせボタンを押したまま、強制受信ボタンを押してすぐ離し、時刻合わせボタンを離します。その後、必ず強制受信ボタンを押してください。



各部の名称と役割

図は操作説明用ですので、実際のもとは異なることがあります。



ストッパーを取り外さないと振り子が動きません。また、電池の消耗を早める原因になります。

輸送する際は、機構を衝撃や振動から保護するため、必ずストッパーを挿し込んでください。

時計・分針・秒針の動き

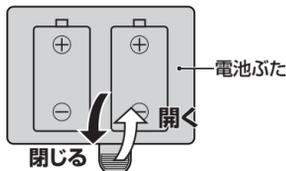
通常の時刻表示

- 時計・分針：10秒に1回動きます。
- 秒針：1秒ステップで動きます。

自動時刻修正

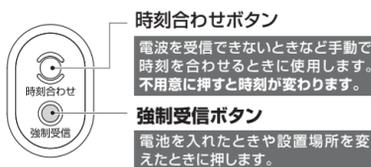
- 時計・分針：早送りで順方向に動きます。また、一時停止することもあります。
- 秒針：早送りで順方向に動きます。12時位置に停止することがあります。

〈電池の入れかた〉

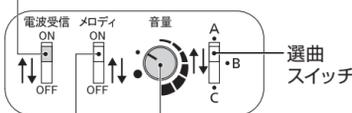


- 電池ふたを引っ張って取り外す
- 単1形マンガン乾電池2個を電池ホルダーに入れる。
- 電池ふたを押し込んで取り付ける。

(裏面操作部)



- 電波受信スイッチ
ON：受信機能有効
OFF：受信機能無効



- メロディスイッチ
ON：報時する
OFF：報時しない
- 音量
Q：小さくなる
Q：大きくなる

使用方法 電池を入れて時刻を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせる場合は、**〈手動での時刻合わせ〉**を参照してください。

◎窓際など電波の受信しやすい所でお使いください。

- 電波受信スイッチをONにする
- 操作中に大きな音が鳴らないように音量を最小にする
- 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れる
電池の⊕⊖を逆に入れると、電池の液漏れ・発熱・破裂の原因となります。
- 強制受信ボタンを押す **〈標準電波・受信の流れとサーチ機能の使いかた〉**参照
受信表示ランプが点灯して受信を開始します。また、針は4時、8時、12時のいずれかの時刻に早送りで移動して受信が終わるまで停止します。
 - 電池を入れた後は、誤作動を防ぐために必ず強制受信ボタンを押してください。
 - 受信中はボタン操作をしないでください。
- ストッパーを取り外す
- 〈時計の掛けかた〉**に従って時計を確実に掛ける
- 16分待つて受信結果を確認する

受信が終わると針が動き出します。受信表示ランプが2秒に1回点灯していれば受信に成功しています。消灯している場合は、受信に失敗していますので、電波サーチ機能で受信する所を探るか、**〈標準電波を受信できない場合〉**を参照してください。

■報時の設定

報時は、毎正時にメロディを1曲奏でます。

メロディスイッチ

- ON：毎正時にメロディを1曲奏でます。
- OFF：鳴りません。

○メロディスイッチをONに設定しても、明暗センサーにより暗くなると自動的に報時をしなくなります。→ **〈明暗センサーのはたらき〉**参照

選曲スイッチ (曲群の選択)

18曲のメロディが3つのグループに分かれています。お好みに合わせて選択してください。曲目は、時計本体の裏面に表示してあります。

ボリューム (音量の調節)

モニターボタンを押すとメロディが鳴りますので、その間にボリュームを回してお好みに合わせて調節してください。

モニター (メロディの試聴)

モニターボタンを押すと、メロディを1曲奏でます。メロディが鳴っているときにモニターボタンを押すと、次のメロディに切り替わります。次に報時するときには、再生の順番が1つ進みます。

- 時刻ごとにメロディは固定されていません。また順番も変えられません。
- 時刻合わせボタンを操作して、正時たとえば10時ちょうどに合わせても報時をしません。

時計の掛けかた

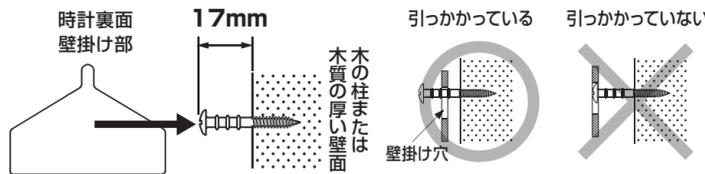
△注意 掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。

○掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け部に掛け具 (木ねじ) がしっかりと掛かっていることを確認してください。

- 垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。
- 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け部にしっかりと掛かるものを選んでください。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に設置してください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

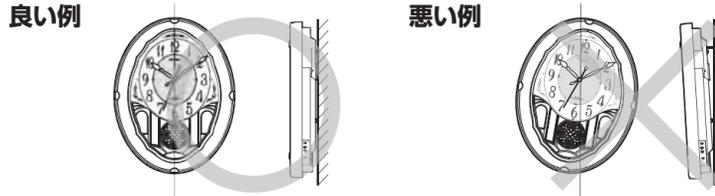
- 付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりとねじ込んで固定してください。



その他の壁面の場合

- 石膏ボード、コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

時計を垂直に掛けないと振り子が正常に動きません。



明暗センサーのはたらき……暗くなると秒針が12時位置に止まる

明暗センサーが暗いと判別した場合、秒針が12時位置に止まり、受信表示ランプが消灯します。また、報時も停止します。昼間や夜間の照明時でも明るさが不足するとセンサーが動きます。

電池の交換時期お知らせ機能……常時秒針が12時位置に止まる

電池の交換時期になると常時秒針が12時位置に止まり、電波の受信と報時を停止します。時計と分針はこのような状態になってから1ヵ月程度動き続けますが早めに電池を交換してください。

△注意 電池の交換 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

電池からの液漏れにより、時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことをお守りください。

- 時計が停止したときは、速やかに新品の電池に交換するか、電池を取り出す。
 - 時計が動いていても1年に1回定期的に交換する。
 - 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。
 - 電池を交換した後は強制受信ボタンを押す。
- ※単1形アルカリ乾電池2個を使用することができます。



標準電波-受信の流れとサーチ機能の使いかた

② 強制受信ボタンを押す



針は4:00、8:00、12:00のいずれかで停止します。

電波サーチ

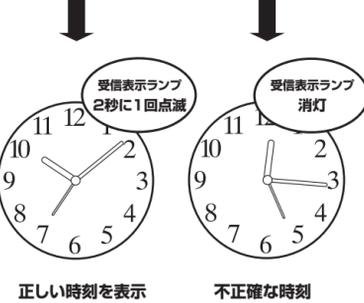
- ③ 受信局を表示
4回点滅 6回点滅 消灯したまま



①からやり直す

- ④ 電波の状態を表示
点灯 消灯
良好 受信できない

⑤ 受信開始から最長16分後



正しい時刻を表示 不正確な時刻

電波サーチ機能は、受信表示ランプの点灯または消灯により、時計がある場所の電波状態をお知らせします。

サーチ機能を使用するときの手順

- ① 窓際やベランダなど電波の受信しやすい所に時計を移動させます。
- ② 強制受信ボタンを押します。
受信表示ランプが約3秒間点灯後に受信を開始。針は早送り移動し、4:00、8:00、12:00のいずれかの時刻に停止します。
- ③ 受信局を表示後、受信表示ランプが点灯したら、設置したい場所に時計を移動します。
- ④ 電波の状態を確認します。
点灯：電波良好→受信できる可能性大
消灯：受信できない→場所を移動する
○点灯と消灯が繰り返される時は電波が弱いので、受信に失敗する可能性があります。
○電波サーチ中に、時計の向きや位置を変えると受信表示ランプの状態が変化します。
- ⑤ 受信表示ランプで受信結果を確認します。
受信が終わると針が動き出します。
受信成功：2秒に1回点滅
受信失敗：消灯
標準電波を受信できない場合へ

- ※受信に失敗した場合、表示されている時刻は正しくありません。
- ※受信に成功しても時刻が正しくないときは、ノイズが原因と考えられますので、設置場所を変えて強制受信ボタンを押してください。
- ※受信表示ランプは、24~25時間以内の受信結果を表示します。

標準電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える/受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に、なるべく向くようにして、強制受信ボタンを押して再度受信を行ってください。
- 時刻を合わせ使用する
ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。
電波が受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

電波を受信できないときは、手動で時刻を合わせてご使用ください。

手動での時刻合わせ……受信できないときや任意の時刻に合わせるとき

時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。
※時刻合わせボタンを押していないのに、針が早送りで動いているときは、通常の針の動きになってから操作してください。
※電波受信機能がONのときは、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。

☞ **電波受信機能のON/OFF操作**参照。

時刻合わせボタンを押すと、時計・分針が動き始めます。

- 時刻合わせボタンを押してすぐに離すと1分進みます。
- 時刻合わせボタンを押しながら続けると早送りで動きます。このとき秒針は停止します。

秒針の動きについて

時刻合わせボタンを離れたときゼロ秒に設定されます。秒針が12時位置に停止しているときは、すぐに動き出し、他のところに停止しているときは、秒針が指している時刻になると動き出します。

静電気の影響について

静電気の影響により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときは強制受信ボタンを押してください。